

- (1) 班名：体のつくり「が」気になる が班
- (2) 班員名：飯山嵯映・前島亮太・菊田晃平・兵頭拓実
- (3) 指導員名：奥堊のぞみ
- (4) テーマ：「クワガタのことにについて」「水辺のホール周辺のチョウ・ガ」  
「意外と知らないカエルの特ちょうとジャンプ力」
- (5) 概要：

### 研究のきっかけ

はじめに水辺のホール周辺の自然観察を行ったときに、たくさんの生き物を採集しました。ところが当日は気温が高く、採集した生き物がホールに帰ってくると死んでしまいました。そこで白川先生に教えていただきながら、クワガタムシやガを標本にしました。標本をつくるためには、体を観察し、図鑑にあるような体のつくりが分かりやすいようにピンを刺す必要があります。これが、クワガタムシやガなどの体のつくりに興味をもつようになったきっかけになりました。

### テーマを決める

生き物の採集を通して、それぞれの班員が興味をもったものについて、研究していくことにしました。テーマは大きく以下の3つです。

クワガタのことにについて

水辺のホール周辺のチョウ・ガ

意外と知らないカエルの特ちょうとジャンプ力

### クワガタのことにについて

白川先生に「クワガタが歩く足の順番を調べると面白いかもしれない」と助言いただき、さっそく研究を進めました。また、観察を続けるうちに、触覚の観察も行いました。

もっと詳しく知りたいと思い、思い切って解剖を試みました。顕微鏡で見ると、体のつくりが精巧で、自然の素晴らしさに感動しました。





### 水辺のホール周辺のチョウ・ガ

ミヤマカラスアゲハの採集がきっかけとなり、水辺のホール周辺のチョウ・ガの種類を調べていきました。採集したり、見かけたものを記録したり…。さらに、飼育ケースに入れたチョウ・ガの様子を観察し、自分なりにチョウ・ガの違いを考えました。

### 意外と知らないカエルの特ちょうとジャンプ力

採集したカエルの観察をしているうちに、種類によってジャンプ力が違うことに気づき、研究を進めることにしました。ジャンプ力を測るため、段ボールに距離がわかるような準備をし、何度も何度もジャンプをさせました。また、じっくり観察し、カエルの特徴も調べました。



### まとめ

それぞれが興味のあることについて研究を深めることができました。自然観察に行った際には、互いが調べたい生き物を採ることに協力し、研究をすすめるうえでも、実験や解剖などを協力して行いました。一人ひとりが研究を深めるだけでなく、チームとして声をかけながら研究をしたことで、研究が深まっていく様子があり、このメンバーで集まれて本当に良かったなと思います。最後の発表練習では、互いの発表をとびきりの笑顔で聞きながらも、真剣にアドバイスし合う姿が印象的でした。貴重な経験をありがとうございました！

